

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2000年(平成12年)4月5日 No. 1155

目次

揺れるロシア・アルミニウム業界.....	坂口 泉 1
旧ソ連・東欧貿易商況(2000年2月).....	11
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	12

揺れるロシア・アルミニウム業界

はじめに 経済速報No.1149(「激動の予兆に揺れるロシア・アルミニウム産業について」)で、2000年初頭時点のロシア・アルミニウム産業の状況をご報告したが、その後、2月初旬に予想以上の「激震」がロシア・アルミニウム業界を襲った。

「激震」の震源地は、2000年2月初旬に流れた、「ロシアの大手石油会社“シブネフチ”の株主で、政商としても有名なベレゾフスキー氏やアブラモビッチ氏が、トランス・ワールド・グループ(TWG)およびレフ・チェルノイ氏¹⁾より、ブラーツク・アルミニウム工場、クラスノヤルスク・アルミニウム工場(この2つの工場で、ロシアのアルミニウム生産量の半分以上を占める)等の株式を取得した」というニュースであった。

このニュースについては、詳細がはっきりしない部分もあるが、ベレゾフスキー氏やアブラモビッチ氏がアルミニウム分野に進出したというニュースは、ロシア・アルミニウム関係者、特に、TWGと激しく対立してきたシベリア・アルミニウム・グループの関係者に大きなショックを与えた²⁾。状況から判断して、新勢力が、TWGの方針を受け継ぎ、シベリア・ア

¹⁾レフ・チェルノイ氏は、TWGが旧ソ連のアルミニウム業界で活動を開始した頃より、TWGの旧ソ連ビジネスの総代理人的役割を担ってきたといわれている。しかし、詳しい理由は不明であるが、TWGは、2000年1月にレフ・チェルノイ氏との決別宣言を行った。その際、TWGは、保有していたロシアのアルミニウム工場の株式の半分をチェルノイ氏に譲渡したといわれている。

²⁾このニュースが流れた直後、シベリア・アルミニウムのデリバスカ氏は、シブネフチの株主たちによる複数のアルミニウム工場の株式の取得が、独占禁止法に抵触しないかどうかについて調べるよう、独占禁止・企業活動支援省に依頼している(『コメルサント・デイリー(以下、KD)』紙、2000.2.22)。